



議会だより

2005

No.60

題字は南端小6年 小野菜々美さんです

平成 17年 4月 27日 (年 4回発行) 発行：大分県日出町議会 電話 73-3135



「お久しぶり! お元気ですか」(横津神社春季大祭)

目次

- 当初予算.....2
- 議案質疑.....4
- 議員定数条例の改正.....6
- 常任委員会.....7
- 一般質問.....10
- 60号発行にあたって.....14
- 追跡調査・委員会構成.....15
- 町民の声.....16

町民の声



日出町ガイド雑感

「豊の船」会員
河野 嘉代 (大神原山)

日出町在住で有りながら、日出を知らない。四〇〇年の歴史を持つ「日出」をもっと深くと思いつつやがて十年。じわじわと静かにガイドの心は郷土愛と変わって来ました。先輩の方たち独創のガイドブック片手に、大分弁で素朴な、ガイド一同の案内は、心をこめて一生懸命。帽子の下汗びっしょりの日も、袴を立て風をよけながらの、拙い案内を熱心に耳を傾け純な睡でうなづいて下さる。ガイド冥利この上なしの気分。また、日出町へどうぞ」と心に念じ、お別れします。

三コースほど簡単に説明致しますと、本丸跡の小学校から出発。天守閣跡地から別府湾の美しさ。目下に漁れるカレイの美味。穴太橋の美しいお城の石垣、城下公園をめぐり県下唯一のこる蒲校の「致道館」で万里先生を偲ぶ四十分コース。

中学のそばに樹齢四〇〇年以上と云われる「大サザン花」、可憐な花は町花としている。おとすれる方ご存知ない瀧廉太郎のゆかりの居所。的山荘のたたままい。さらに鑑絵の有る谷町へ。ここまで一時間三十分のコースです。

もう少しとおっしゃる方には日本一を誇る大蘇鉄の松屋寺へとご案内する三コースです。先日、国東町「アスト」でガイド研修に二日ほど参加させていただく機会がありました。男性の出席者の多い事。ユニークな発想を深刺と元気いっばいの発表でお聞きしました。女性だけのガイド団体である「豊の船」も運営方法を少し見直す時かと暗中模索の折でもあり、いろいろヒントを得た事が幸でした。

町内の史学者の方々のお力をもっと積極的にいただき、女のやさしさ、男性のパワーとで、より充実した観光のご案内が出来れば通過する町でなく、立止まってゆっくり観光をしていただく町に……。

私達ガイドの願いでもあります。

議会事務局紹介



事務局長として、その責任の重さを痛感しており、常に研鑽に努め、議会の手助けができるよう努力します。

事務局長 阿部 幸 義 氏

固定資産評価審査委員会委員に選任



浅野 守 氏 (川崎宗行)

編集後記

・犬のフン・道路、歩道、公園に放置しないで持ち帰りましょう。マナーの悪いオーナーが多すぎませんが、犬を飼う資格が問われても、子どもや幼児たちが公園で楽しく遊べますか。

登下校のとき、フンを踏んで楽しいと思いませんか。それがわが子だったり、孫だったり……

やっぱりイヤですね。あなたの飼っている愛犬が、最も気にしていると思えますよ……

編集委員長 後藤 佑
副委員長 森 昭人
委員 佐藤 清江
委員 上野 公則
委員 笠置 久夫
委員 城 美津夫

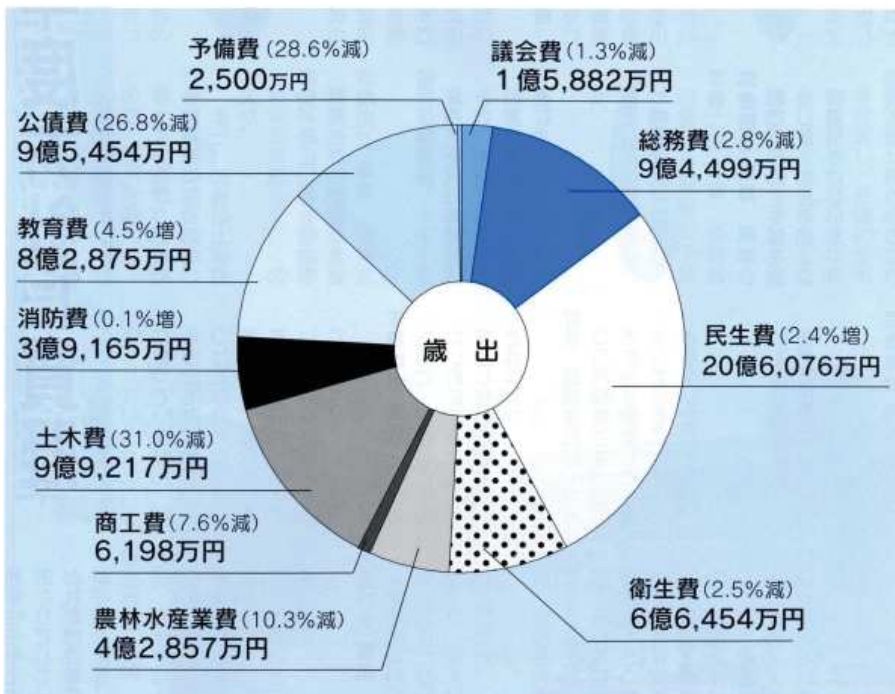
平成17年度

一般会計当初予算 **75億1千**
 特別会計当初予算総額 **82億3千**

600万円 (前年比マイナス9.8% 8億2千100万円減)
848万円 (前年比マイナス0.4% 3千196万円減)

【目的別歳出予算内訳】

17年度一般会計歳出予算が各目的別にどう使われているか見てみました。
 () は16年度と比べたときの増減です。



歳入では、町税が配偶者特別控除の廃止等による個人住民税の増、企業収益の回復による町民法人税の増を見込み、前年度対比5.1%増収としています。

また、三位一体改革による国庫補助負担金の一般財源化に伴う所得譲与税が4,800万円の増加を見込んでいます。その他は軒並み減額ですが、行財政改革の取り組みで各種見直しを行い歳出を抑えたため、財源不足を補う基金繰入金を前年度より64.3%減、必要最小限1億4,350万円の基金取崩しとしています。「行財政改革プラン」に掲げている基金取り崩しの最低目標額3,900万円を達成するためには、17年度中も全庁をあげ、新たな改革への取り組みが必要です。

【一般会計歳入予算】

区分	17年度	16年度	対前年増減額
町税	25億5,794万円	24億3,427万円	1億2,367万円
地方交付税	20億2,000万円	21億2,000万円	▲1億円
所得譲与税等地方譲与税	2億1,500万円	1億6,160万円	5,340万円
各種交付金	4億0,712万円	4億2,210万円	▲1,498万円
国庫支出金	6億4,108万円	7億1,132万円	▲7,024万円
県支出金	4億6,150万円	4億8,735万円	▲2,585万円
町債	7億2,450万円	12億7,980万円	▲5億5,530万円
基金繰入金	1億4,350万円	4億140万円	▲2億5,790万円
使用料、手数料、財産収入など	3億4,536万円	3億1,916万円	2,620万円
合計	75億1,600万円	83億3,700万円	▲8億2,100万円

【一般会計歳出予算】

区分	17年度	16年度	対前年増減額
義務的経費	19億4,243万円	19億9,655万円	▲5,412万円
扶助費	11億6,857万円	11億4,072万円	2,785万円
公債費	9億5,452万円	13億0,375万円	▲3億4,923万円
投資的経費	6億9,028万円	8億2,089万円	▲1億3,061万円
その他の経費	27億6,020万円	30億7,509万円	▲3億1,489万円
合計	75億1,600万円	83億3,700万円	▲8億2,100万円



限られた予算を効率的に (スリム化した都市建設課)

平成17年度一般会計当初予算は、完成した行財政改革プランが反映された緊縮予算となりました。自立する町づくりのため、健全財政に向けた取り組みがスタートします。

改革元年 緊縮予算

新年度方針に質疑

議会議員の定数条例の一部改正

佐藤隆信 議員 住民の意見を反映するには、一定の定数が必要である。定数を減らさずに報酬を減らす方がよいと思う。

なっているが、どれくらい減額になるのか。また、80歳以上は何人か。

に思っていません。削る部分もありますが、つける部分もたくさんあります。総合的に見てバランスよく考えていく必要があると考えています。

麻生重義 講演委員長

各常任委員会でも十分に審議をして、その結果を議会運営委員会で協議し、結論を出している。

新生児誕生祝金等支給に関する条例の一部改正

福祉保健課長 1千132万7千円の減額見込みで、1月31日現在で80歳以上は1581人となっています。

を育て、安心して住みたい町にするためにも減額しない方がよいのではないかと。

佐藤隆信 議員

子どもを育て、安心して住みたい町にするためにも減額しない方がよいのではないかと。ご理解をいただきたい。

荒金啓治 議員

今までは1〜2時間の利用で、午前午後が埋っていました。施設を効率的に使えず利便性が悪いと思われま

す。利便性を考えて1時間あたりでしているが、どれだけ行革になるのか。

行政組織条例の一部改正

熊谷健作 議員 投資的部分を減らして管理部門を強化しようという見えるが、考えを聞きたい。2月1日に人事異動があり、税務課長が、兼務になった。税務課で一番忙しい時期に兼務にしたのか。

16年度一般会計補正予算

町長 日が出町が自立してやっていくためには絶対必要であると考えています。私の基本的な町政に対する姿勢であり、適材適所をもって配置するという考えでやっています。

敬老年金条例の廃止

佐藤隆信 議員 廃止して敬老祝品を贈ると

荒金啓治 議員 選挙公約で、子育て支援を強化しますとあるが、公約違反ではないか。

荒金啓治 議員

施設を利用しやすくすることが一つ、年間150万円の収入と経費で130万円程度とその他雑費を含めると収入以上の経費がかかっています。無料にして利用促進を図る方が公園のイメージがよいと考えています。

辛島雄三郎 議員

財産売却いで、有価証券の収入4千440万円の積算根拠はなにか。

議案質疑とは、それぞれの議案の目的や内容について疑問点などを質疑することです。これらは、議案を審議する段階でとても重要なものとなります。

議論集中

少子・高齢化の支援も

17年度一般会計予算

辛島雄三郎 議員 税の収納率は、目標を持っているのか。

総務課長 現在4路線の運行をお願いしていますが、大変低い利用率です。過疎地域の運行であり、地元の強い要望があります。

税務課長

税の負担の公平を欠くおそれが高いので、特例を適用し、全ての調査終了後に調査後の地権をもとに課

佐藤清江 議員 地方バス路線維持費補助金1千581万3千円は、路線の数と乗車密度、費用対効果の観点からどう考えているか。

町長 今、町として何が出来るかを考えると十分ではありませんが、実施する方がよいと考えています。

佐藤清江 議員

幼稚園の預かり保育の予算が計上されているが、どういう効果があるのか。

地籍調査後の課税方法は、今後も特例で対応していくのか。



町政執行の基本姿勢を問う

商工観光課長 日出ハイテックの経営状況、資産などをみて税理士が計算したもので、一株5万5千500円です。

税務課長 具体的な目標を設定し、意識の変革をはかるなどを主な柱として、徴収率向上に努めています。

佐藤二朗 議員

幼稚園の預かり保育の予算が計上されているが、どういう効果があるのか。

地籍調査後の課税方法は、今後も特例で対応していくのか。

佐藤隆信 議員

人権同和対策費の150万5千円の中身は何か。

増やすとしているが、具体的には何か。
町長 ホランティアや防犯防災など、区長中心に地域づくりをやっていたと思います。

住民課長

職員や行政関係者に対して、新聞などを講読していただき、正しい理解と認識を深めていただいております。

熊谷健作 議員

新しい町づくりの基本精神があると思うが、新年度予算に反映されているのか。

町長

あらゆる方策を考えたつ、創意工夫というが、そういうものをこしらえて現状にいたっています。

税させていただくことになっていきます。

荒金啓治 議員 区長の報酬費は見直していない。理由として仕事を

次期一般選挙から定数16人に改定

【議員定数の見直し】
議員提案による自主計画に基づいて、行財政改革の一環として、議員定数を次期改選から22人を16人と改める。

【議員報酬の見直し】
議員提案による自主計画に基づいて、行財政改革の一環として、議員報酬を平成16年4月から19年3月までの間、報酬月額3%カットとしていたが、平成17年4月から21年3月までの間、報酬月額5%カットと改める。

議員定数条例の改正

【議員発議】
今定例会に2つの議員発議を提案し、可決した。
定数と報酬の見直しによる効果額は3年間で、約1億550万円、その他議員提案により、議会経費全体の圧縮にも努めている。

(単位：千円)

区分	17年度当初	16年度当初	比較	伸び率 (%)
議員報酬	83,332	83,502	△170	△0.2
職員給料	15,426	14,487	939	6.5
職員手当等	34,159	33,767	392	1.2
共済費	12,263	11,647	616	5.3
旅費	5,175	6,328	△1,153	△18.2
交際費	500	500	△150	△23.1
需用費				
消耗品費	700	750	△50	△6.7
食糧費	567	1,012	△445	△44.0
燃料費	74	102	△28	△27.5
印刷製本費	2,782	2,822	△40	△1.4
役務費				
通信運搬費	25	25	0	0.0
手数料	13	26	△13	△50.0
広告料	5	10	△5	△50.0
損害保険料	18	45	△27	△60.0
会議録調整委託料	1,373	1,448	△75	△5.2
使用料および賃借料	50	120	△70	△58.3
負担金補助および交付金	2,163	3,793	△1,630	△43.0
合計	158,820	160,935	△2,115	△1.3

総務

効率的な組織改革

● 日出町税特別措置条例の一部改正は、新産業都市建設促進法が廃止されたため、その法による固定資産税の不均一課税ができる条例を削除。租税特別措置法の改正に伴い、農村地域工業等導入促進法による条例は平成18年3月31日まで適用期限を延長、その他の条項などは異動するもので承認。

● 日出町行政視察組織条例の一部改正は、

- ・ 総務課に広報広聴係、行政係、総務係を置く。
- ・ 従来の企画財政課を財政課と企画振興課に分け、財政課に財政係、電算係、管財係を置く。
- ・ 企画振興課に現在の行財政改革推進室を行財政改革係とし、地域振興係の2係をもつ

常任委員会報告

て、町の基本構想や重要施策を行う。

- ・ 建設課と都市計画課を統合し、都市建設課とし、スリム化を図り、機能を充実させる。
- ・ 教育委員会内に国体準備室を設け、2008年国民体育大会での「なぎなた競技」が円滑に開催できるよう専門職員を配置した。

以上、機構見直しによるもので可決。

● 各種委員会委員などの報酬および費用弁償条例の一部改正は、行財政改革に伴い、月額5千300円を一律4千円に改定。体育指導員の報酬を月額から年報酬に改めるもので可決。

● 職員の給与に関する条例などの一部改正は、給料月額の5%を、期限を限って減額するもので可決。

● 日出町使用料条例の一部改正は、使用料の時間設定を6段階に分けていたが、1時間あたりの使

用料に改定し、また、糸ヶ浜海浜公園の駐車料金を無料にするもので可決。

● 16年度一般会計補正予算は、退職者の増加に伴う退職手当組合特別負担金、日出ハイテック株売却収入、地方バス路線維持補助金などを計上するもので可決。

● 17年度一般会計予算は、町税収入の伸び悩み、三位一体改革のもとの地方交付税、国庫支出金などの減入の大幅な減によって大変な厳しい予算となっている。

執行部に対し、予算執行にあたっては十分な配慮をするよう要望し、可決。

産業経済

農業委員の定数見直し

● 日出町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例などの一部改正は、各地区の耕作面積に



「17年度当初予算の目玉は何か」

不均衡が生じてきたため、選挙による委員および議会推薦による委員の定数、選挙区の区域を変更するもので可決。

ため池改修費の改正

● 県営土地改良事業分担金徴収条例の一部改正は、受益者負担が原則である。負担金の減免や徴収の延

カレイ祭りも規模縮小で実施

● 17年度一般会計予算は、行財政改革の関係で城下カレイ祭り予算500万円(33%)減の、1千万円が計上されたもので可決。

常任委員会報告



「子育て支援を期待します」

- 万里堂管理条例の一部改正は、万里堂の名称を致道館に改めるもので可決。
- 日出町新生児誕生祝金等支給に関する条例の一部改正は、行財政改革に伴い、祝金を減額するもので、少子化で子育て支援が叫ばれる中、時代に逆行との意見もあったが可決。
- 日出町敬老年金条例の廃止は、行財政改革に伴

いこれまで満80歳以上の方に年額1万2千円支給していたものを、年金ではなく、節目の年毎に敬老祝い品に変えるもので、所得基準を設け、小額でも年金を支給すべきなどの意見が出されたが、執行にあたっては混乱しないよう留意することを確認し可決。

- 16年度国民健康保険、老人保健、介護保険の各特別会計補正予算は、給

区画整理事業で行なわずに国道10号線と町道佐尾・城下線を結ぶ315mと南北交通広場、駅舎、自由通路24mを整備する新たな事業計画を提案、事業概要の施工期間は、7カ年計画で1〜4期に

見直し計画は大丈夫か 高校跡地

新たな事業の概要

種別	概略数量	概算工事費
①仮称陽谷駅北口駅前線	延長315m幅20m	1億6,000万円
②交通広場（北側）	面積約2,000㎡	6,200万円
③交通広場（南側）	面積約950㎡	5,800万円
④駅舎（北側）	面積約100㎡	2,800万円
⑤駅舎（南側）	面積6㎡	200万円
⑥自由通路	延長24m	2億2,000万円
合計		5億3,000万円

●高橋跡地をどうするか明確でない。町有地処分計画か。
●高額な自由通路の整備は必要か。
●なと様々な意見が出されたが、概ね見直し案については了承を得たと報告があった。
●委員会としては、地元関係者の承諾が得られたということで見直し計画案と、本年度の一部の事前事業費について了承した。
●また、事業の全体が確定し、具体的な内容や根拠が示されるまでの当分の間、継続して審議していくこととした。

常任委員会報告

建設

スワンプランドの復元

- 日出町都市計画審議条例の一部改正は、課の統合に伴い、都市計画課を都市建設課に改める条例整備に関するもので可決。
- 日出町都市公園条例の一部改正は、公作物の保管、価格の評価、売却、返還に関する条例5つを加えるもので可決。
- 17年度日出町簡易水道特別会計予算は、総額912万8千円。主な歳入は使用料430万円と一般会計繰入金474万6千円。主な歳出は施設の維持管理費、水質検査、人件費、修繕料、電算処理業務委託料で可決。
※使用料値上げについて地元関係者と話し合いが開始したと報告があった。
- 17年度公共下水道事業特別会計予算は、総額10

億6千633万5千円。16年度に引き続き老朽化および処理量の増加に対処するため、浄化センター内の汚泥圧縮機更新事業に取り組む。面整備は内野、辻の尾、藤原南部を予定している。加入率の促進は、具体的な数値目標をもち、対応するよう要望し可決。

- 17年度農業集落排水事業および農業集落排水事業特別会計は、浄化センターの維持管理費の計上

完成に伴う、起点および終点の変更を行うもので可決。

- 17年度日出土地区画整理事業特別会計予算は、総額8千494万3千円。主な財源は精算徴収金と一般会計繰入金で措置。歳出は借入れに伴う元利償還金で可決。
- 17年度一般会計当初予算は、陽谷城址の景観に溶け込む道路整備を指す二の丸南浜線改良事業

分け行なうとしている。委員会の存続も含め、新たな計画案の是非は、地元地権者で組織した「陽谷駅周辺整備推進会議」の説明を待つ、まだ、まだ不確定な要素が多く、計画のさらなる具体的内容や根拠が必要というところで、審議を継続としていた。

●公民館の設置および管理に関する条例の一部改正、日出町視聴覚ライブラリーの設置および管理に関する条例の一部改正は、運営委員の定数を改正するもので可決。
●日出町ふるさと資料館の設置および管理に関する条例の廃止は、老朽化のため建物をすでに取り壊しており可決。
●日出町文化財保護委員会条例の一部改正は、職務内容の明確化に伴うもので可決。



「早く泳いでみたい」完成した大神小プール

社会・厚生

敬老年金を廃止

なコンセンサスをはかり、費用対効果の上がる予算措置をされるよう要望し可決。
●その他、16年度一般会計、公共下水道事業、水道事業の各補正予算を可決。

一般質問

ここが知りたい…

財政立て直しの削減行革プランから 展望のもてる町づくりプランへ

森 昭人 議員



問 改革プランの収支見直しでは、平成20年の再建団体転落は回避できるが、基金残額が「0」となり、依然として財政運営は厳しい。また国・県の動向を考えるとプランの予測以上のマイナス要素を視野に入れ、社会保障費の増加に対応するためにも、当然もう一歩踏み込んだ改革が必要だと考えているはずである。今回の改革プランで金額として積み上げている。改革施策以外の歳出の抑制策はあるのか。

町長 常にコスト意識をもち、付加価値の高い行政サービスの提供を行なうため、機構の抜本的な見直しや計画的な職員研修で自己改革を促します。

問 歳出の削減だけでは財政再建はできない。即効あるいは長期的に効果を期待するための自主財源の確保に向けた施策が必要である。

町長 企業誘致や町有財産賃付料等減免の見直しに取り組みます。観光振興に積極的に関わり、にぎわいのある町づくりに努め、また重点地区の開発策を進め、同時に環境整備を行い人口増加を図りたいと考えます。

問 先に行なわれた住民説明会は限られた時間のため、厳しい財政状況や削減策が自立し、将来の町づくりに不安をもっている方も多いためにも不安を払拭する取り組みを。

未来に展望のある基本構想づくりを（企画振興課）

町長 新しく広報公聴場を設置し、また客観的な状況ではありませんが、重点的に行なう泉北大神線の構想など展望のもてる内容もしっかり広報していきたい。説明責任を果たし、町民の皆さんの意見を

問 3年間の運営実績など、一定の条件が必要ですが、また、運営経費の2分の1の財政補助が必要になりますので、「1つづくります」という状況ではありませんが、地域ボランティアを言え、形は生かしていきたいです。組織にこだわらず、求人ができないかと思っています。

住民参加の輪づくり

問 住民と協働して町づくりを推進するとしているが、組織が具体化するはいくつか。

町長 これまでできるだけ多くの機会に町民の皆さんの意見を聞き、相談をしてきたつもりです。今後行われる行財政改革の見直しも、新たな構成メンバーの推進会議で取り組んでいきます。地区懇談会なども節目のなかでやっています。

質問を終えて

改革を行なって財政の立て直しをしたいとの意気込みは感じましたが、今後どう町をつくるのか、町民にわかりやすく示すことが必要である。

一般質問

ここが知りたい…

シルバー人材センターの設立を

佐藤 隆信 議員



問 自立を目指す町づくりは、人件費の削減や、事務事業の見直し、補助金のカットなど、削減策だけでは限界があると思う。また、商業や農漁業の生産向上と個人所得が伸びてこそ町の財政は安定すると思う。

町長 ボランティアや元気な老人の育成に力を入れるといっているが、お年寄りが自分の特技を生かし、仕事をしたいと思っている人がたくさんいる。シルバー人材センターの設立ができないか。

町長 法人化するには、農産物の生産高と農業所得の向上を

遊休農地の活用は、任せろ



問 日出町の農産物の販売高や就農者の所得の目標を達成し、後継者育成の取り組みを。

町長 粗生産額で50億円台の回復、所得は年間所得1人あたり600万円、後継者は新規就農者を言え、年間2人程度の確保を目標にしています。非常に低水準である状況を確認し、予算もある程度力を入れたつもりであります。

一般質問

ここが知りたい…

新年度予算編成を問う!!

小石 英信 議員



基本的な考え方、何を重点に考えたか。町長 日岬町が自立すべき方策をとること、これ一点に絞られます。行政・各種団体・地域とが一体となつて日岬町を盛り上げる協働の町づくりを行い財政再建団体などの厳しい局面には絶対なつてはなりません。難しいが挑戦し、職員共々頑張っていきます。

象、役場は町民の皆さんが相手と言っています。予算の多寡ではありません。また、若い人の集まりに行き、日岬町は住みやすいと聞きまし。今後じっくりお聞きしていきます。

町長 老人、子ども、障害者などの弱者に対する行政責任はどう考えているか。

町長 老人会とは頻りに協議をさせていただいておられます。老人会の皆さんからは、「協力します」と言っていたいてはいる経過がある。私は受け止めています。

町長 当然、行政責任は多々あると理解しています。すべてかというそれは何とも申し上げられません。やはり財政事情が厳しいと多くの人たちが力を合わせて持てる力を発揮す

町長 敬老年金で、1千100万円ほど減らしたわけだが、老人会が区長会かどこかに事前に話をしたのか。

質問を終えて
地域には立派な人がいる。仕事のできる人もいる。その人たちが大事に扱いながら、町の事業を成功させることも大事だと思う。



「ようそろ」財政再建の羅針盤

一般質問

ここが知りたい…

地域の安全・安心を確保する拠点の整備を

佐藤 済江 議員



町長 昨年、国が地域の安心安全アクションプランを提言しています。現在、町は防災組織として、消防団が活動していますが、課題もありません。自主防災会をお願いします。20団体、30%と低い組織率ですから、本年度中に自治区の協力をいたいて、頑張りたいと思います。

町長 次世代育成支援対策推進法に規定された市町村行動計画に、定められている地域の特性や創意工夫を生かした、子育て支援事業に対して国の助成制度が

町長 消防、警察、各バト



動き出した地域防犯活動

質問を終えて
自立した子育て支援は日岬町の活力を産み出す重要な施策。「町づくりは人づくり町おこしは幼児期から」をあい言葉に住民参加のしくみづくりに、全力を傾注していただきます。

町長 つどいの広場事業は、支援事業として、大神保育園に、子育て相談や子育てサロン、保健福祉センターでは、親子教室などを実施しています。ファミリーサポート事業は、十分検討したいと思

町長 現在42名の委員で構成している次世代育成支援行動計画策定委員から答申がありました。側面からの子育て、地域に協力を求める実態などを把握し、答申の内容などを検討し、町の少子化問題や健全育成に取り組んでいきたいと思

追跡調査

一年前言った事、今どうなっちょるかえ!

一般質問の部

平成16年
3月定例会

問 17年度から夏季休業の短縮は実施しませんが、安くないか。

小石 英 信 議員

答 17年度から夏季休業の短縮は実施しませんが、安くないか。

問 学校の健康診断で、健診データによる再検査を民間企業なみに検討したことがあるか。

答 現在、健診した医療機関から本人に再検査・精密検査の指示と専門医への紹介状などの指導があり、それに基いて再検査を受けています。町としては健診内容を年々充実させ、各種検診に積極的に参加させています。

後藤 佑 議員

問 16年4月に日出町二期期制推進委員会を設置し、「ゆとり」の中で「確かな学力」を身につけさせるため話し合っています。

答 学校二期期制で、保護者・教職員に対する啓発方法として検討委員会を設置すると議会で発言されているが、設置されたのか。

兎 洞 賢 蔵 議員

議会体制 決まる 平成17年度 委員会

任期／平成17年4月7日～平成18年4月6日
議長 笠置 久夫 副議長 城 美津夫

委員	委員会名	総 務	産業 経済	建 設	社会 厚生	議会 運営
委員 長		辛島 雄三郎	麻生 重義	森 昭人	白水 昭義	笠置 弘
副 委 員 長		脇口 近美	荒金 啓治	佐藤 克幸	兎洞 賢蔵	辛島 雄三郎
委 員		小石 英信	垣迫 伝一郎	笠置 弘	相原 正和	麻生 重義
委 員		後藤 佑	佐藤 清江	熊谷 健作	佐藤 二郎	森 昭人
委 員		遠藤 建作	佐野 故雄	佐藤 隆信	上野 公則	白水 昭義
委 員		城 美津夫			笠置 久夫	

60号発行にあたって

～片多昭二氏に当時の苦労話を書いていただきました。～



第1回発行時の
副委員長 片多 昭二氏

議会と町民を結び「ひびき」を受け、「そうだし議会だより」が今回で第60号になる。年4回発行なので、早15年間続いた事となる。第1号から発行にいきさか、たずさわった一人として感無量なものがある。

発行のきっかけは、当時の麻生重義議長から「議員は住民全体の利益のため、法令に基づき、公平にその権限を行使すべき厳しい立場にある。」町全体の調和のとれた発展を図るべく、すべての議員が「全体の奉仕者としての心構え」をもち、活動しなければならぬ。決して独善であってはならず、常に議会活動の状況を町民の前に明らかにすべきで、その手段として、「議会だより」を発行したら。」との呼

委員 長に笠置久夫（現議長）、副委員長 辛島雄三郎、委員に岡田良則（云計）、垣迫伝一郎の各議員に麻生重義、池田雅美正副議長の顔ぶれがそろった。

しかしながら、如何せん全くの素人ばかりで、どうすればいいのか、透方にくれるばかりで、なかなか手をつけられない。まずは先進地の議会を視察研修をと、緒方町議会などで研修を受けた



手探りで発刊した苦心作

が、正直なところ、分かったように分からないという状態であった。

いろいろ悩んだ末、印刷会社興栄社に藤原出身の高野氏が勤めていると知り、高野氏に原稿の整理、紙面の作り方など、一日ご指導願ひ、手探り状態ながら、独自の手作り「ひびき」議会だより第1号」が平成2年第二回定例会報告として（6月議会）同年8月25日発行された次第である。

出来上がった第1号を手にとって、「さて、これを町民各位に読んでもらえるだろうか。これで議会の状況が分かってもらえるだろうか。」と心配でたまらなかつた。あの時の気持ちが未だに忘れられずに思い出される。

また、配布するにはどうするか。町内全戸にわたるので、大変な難題だ。大変迷惑だと思っがこれ

は区長さんをお願いするしかない。

そこで、議長から区長さんに配布方依頼の手紙を出していたら、どう要請し、すべて完了。それから15年、小生が編集副委員長として、第16号まで、その後は優秀な委員諸氏の努力により、より素晴らしい、読んでもらえる、読みたくなる議会報として成長した「ひびき」議会だより。

その内容をより充実させる議員諸氏のご活動に心から声援を送り、ご期待申し上げます。

おわりに、編集活動に種々ご配慮下された当時の議長麻生重義議員ほか、編集委員長として統括指導された笠置久夫議長にお礼申し上げます。なお、題字揮毫は工藤昭事務局長にお願いした。

60号発行にあたり、想いを寄せさせていた